



MM式‘超’プロマネ養成研修のご報告

第29期実践報告 & 第30期開始

新年おめでとうございます。

1999年から始めた“超”プロマネ研修も今年で10年目を迎えました。皆様のご支援のおかげで、この1月19日には第31期研修が開催されます。

この研修にかかわってから早や10年(?)、オープン研修だけでも345人(数字のならばが実にいいですねえ)の受講生の方々に接し

てきたわけですが、半年間にわたる研修の中で皆さんと身近に接し、お話する機会が多いことから、それなりにまだ皆さんの顔も記憶に残っており(プチ自慢です)、これからどれくらいこの記憶が持ちこたえられるものか、自分でも興味ある点でもあります。

おかげさまの2点目は、第1期の受講生の数人の方といまだに交流を続けさせていただいていることです。受講時20代でマスコット

1

的存在だった(私だけが思っている?)最年少のKさんももうすぐ40歳。「Kちゃん!」と「ちゃん付け」では呼べない年齢になってしまいました。月日の流れを感じてしまいましたが、今実施中の30期にも元気で積極的、愛される人柄の若者(失礼!)もたくさんいらっしゃいます。寄る年波に勝てず足腰にも年齢を感じているのですが、「そんなの関係ない!」と鞭打って、皆さんとの半年間の研修を楽しみながら運営していきたいと思っています。

さて、前述の30期研修はこの1月に2講座を実施し、4月まで実践に入ってくださいますが、ここで昨年11月10日に開催された第29期研修の実践報告会について少し触れさせてください。

29期研修生も実践の最中から(中間報告

提出状況などで)コーディネータの先生ともども期待していたのですが、その期待どおり、たいへん熱心に実践や研究に取り組んでくださり、大きな感動を呼ぶ発表会となりました。

全員の発表後、受講生相互の評価による審査の結果、第1位から第3位までの方を表彰させていただいたのですが、上位は次点と拮抗状態だったのが特徴でした。まるで浅田真央とキム・ヨナの戦いのような僅差でした。

今回、ビジネス以外のテーマでユニークだったのは、「第四種(12歳以下)のサッカーの改善」というテーマに企画提案手法(第1回講座)やチームビルディング(第2回講座)、そしてリスクマネジメント(第6回講座)の講座内容を適用したものです。

ご本人曰く「高学年を対象とした指導を一つのプロジェクトとしてとらえ、問題分析やリスク管理を行い、改善に向けたスケジュール

2

ルや体制図、会議体を決め、改善項目の設計・開発を行った」そうで、次年度から実施する予定とのこと。適用された手法やテンプレートも多彩で、企画提案手法で学んでいただいた問題点関連図や丸い三角形をはじめ、チームビルディングの中からはM E Hモデル（Model of Empowerment for Happy Teambuilding、ヒト自身がつりソースを3層に分類し、ほめたり叱ったりをその層で使い分けるといふものです）をサッカー指導の中で実践したり、講師から提供されたリスク一覧なども適用して、チーム形成やこれからのチーム体制計画に役立てたそうです。

このプロジェクトメンバの中には同業（情報サービス）の方もいらしたので、前向きにプロジェクトマネジメントに取り組んでもらえたことも、本人だけの空回りで終わらずに成果を上げることができた要因でもあったと

か。残念ながら入賞は逃しましたが、ビジネステーマ以外での興味深い適用例として皆さん感心しきりでした。どのような局面でも実践できるものとして印象深い内容だったと思います。

このテーマ以外にも内容の濃いものが多く、報告会に間に合わせたかのようなおざなりではない実践結果のあれこれに、皆さん、疑似体験効果は十分実感していただけたようでした。実践もそうですが、結果を資料にまとめるにもそれなりの時間が必要です。忙しい最中、休日返上で取り組まれた方がほとんど。受講生皆さんの頑張りと関係者の方々に改めて謝意を申しあげる次第です（硬い？）。

なお、大型案件に取り組み中の方もおられ、表彰式後の懇親会で、1年後に「その後どうなったか」の発表会を開催しようということ

3

寄る年波のことは忘れ、弱ってきた足腰に鞭打ってガンバります。本年もご支援のほど、になりました。これはとても興味深いですね。

よろしく願い申し上げます。

（田村八重子 記）

第30期メンバ集合



4